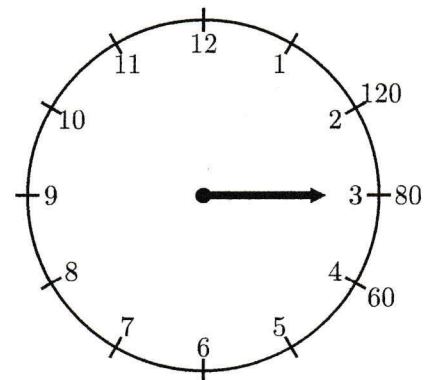


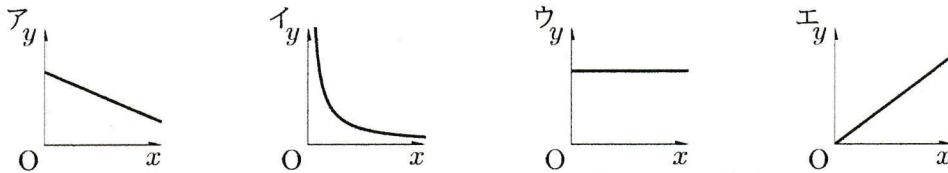
お兄さんは、患者さんの1分間の脈拍数を測るために、ナースウォッチを使います。ようこさんは、お兄さんからナースウォッチの使い方を次のように教わりました。



- (I) 秒針が文字盤の12または6の数字をさしたところから、脈拍数を20回数える。
- (II) (I)のときに、秒針がさした文字盤の外側にある目盛りを読む。
- (III) (II)で読んだ数が1分間の脈拍数となる。
- (IV) 例えば、図は、秒針が文字盤の12の数字をさしたところから測って、脈拍数を20回数えたときの秒針の位置を示し、時間は15秒、このときの1分間の脈拍数は80となる。

ようこさんは、脈拍数を20回数えたときの時間を x 秒、そのときの1分間の脈拍数を y 回とすると、 y は x の関数であることに気づきました。次の①、②に答えなさい。

① この関数の表すグラフを下のア～エの中から記号で選びなさい。



② ようこさんが自分の脈拍数を20回数えたときの時間は、16秒でした。このとき、ようこさんの1分間の脈拍数は何回か答えなさい。

[H30 徳島県中3 第一回基礎学力テスト]

① 20回で x 秒 y 回で60秒 この比が比例するから
 $20 : x = y : 60$ として x, y の式を求めると
 $xy = 1200$ $y = \frac{1200}{x}$ となるから イ

② $x = 16$ ということから
 $y = 1200 \div 16 = 75$

75回